

## 研修報告

### 2021 年度意思決定支援委員会企画研修会

委員長 大藏真弓

- ◆テーマ 「MSW がおさえておく意思決定支援の実践方法を学ぶ  
～クライアントの権利を守るという視点から～」

◇日時 2021 年 12 月 5 日（日）10：00～12：00

◇方法 オンライン

◇参加者 21 名

◇内容 報告：意思決定支援委員会のとりくみ

尾北医師会地域ケア協力センター 大藏真弓

講義：意思決定支援の基礎的理解 刈谷豊田東病院 松川安文 氏

グループワーク：事例を基に意思決定支援を意識した相談支援を考えよう  
全体共有とまとめ

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 鈴木裕之 氏

- ◆参加者アンケートのコメント（抜粋）

- ・意思決定支援をするにあたり、根拠をしっかりとったうえでの支援が必要であることを改めて感じました。もう一度ガイドラインを確認し、根拠を持ったうえでの他職種との情報共有や今後の支援に活かしていきたいです。
- ・日常業務で意思決定支援を行う際に、慣れや自分の都合を優先させていないだろうか？本来あるべき支援が実践できているのだろうか？と立ち返って考える良い機会となった。

- ◆研修会を終えて

意思決定支援は MSW が従来から日常的に行っているものですが、医療・ケアに携わる多職種から意思決定支援に注目が集まっているいま、改めて MSW として根拠に基づいた意思決定支援を行うことが重要だという委員の想いを基に、本研修会を企画しました。

ソーシャルワーカーの倫理綱領、バイスティックの 7 原則、意思決定支援ガイドライン等から MSW のポジショニングや視点を整理しました。また、事例を基にご本人の意思を尊重するための医療・ケアチームの働きについて話し合いました。参加者の皆様と共に、MSW としてご本人の意思を尊重し、医療・ケアチームにおいて意思の実現を目指していくための基本について学び合うことができ嬉しく思います。

意思決定支援委員会として初めての研修会企画であり、オンラインでグループワークを行うという大きなチャレンジでしたが、講師やファシリテーター間の事前の打ち合わせや練習が功を奏し、研修を終えることができました。参加者満足度は 5 点中平均 4.7 点であり、アンケート結果からは意思決定支援への関心の高さがうかがえましたので、今後の委員会活動において研修企画も再度検討していきたいと思えます。

本研修会を実施するにあたり、研修部長と担当理事には企画段階から研修終了まで手厚くご支援をいただき、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。